

「サイエンスカフェ in 静岡」第116話（2017年6月29日）

テーマ：「材質をみるCT～フォトンカウンティングのカ～」

講師：青木 徹（静岡大学情報学部情報科学科）

■ ご記帳者数（記帳分のみ）

62名（男性：46名 女性：16名）

■ 初めのご来店者数 14名 複数回の来店者数 48名

■ 職業別ご記帳者数

会社員：10	公務員：2	教員：3	自営業：5
主婦：6	小学生：0	中学生：0	高校生：8
大学生：5	その他：21	不明：2	

■ 年齢別ご記帳者数

19歳以下：8	20代：4	30代：0	40代：6
50代：9	60代：19	70代：8	80代：3
不明：5			

■ 住所別ご記帳者数

葵区：18	駿河区：18	清水区：14	浜松市：1
富士宮市：1	掛川市：1	熱海市：1	焼津市：1
藤枝市：3	富士市：1	不明：3	

■ アンケート回収数 27名

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。（複数回答有）

継続参加による周知：23	
カフェからの電子メール：0	静大のWebサイト：1
カフェのブログ：2	eしずおかのイベント情報：0
カフェのツイッター：1	ポスター：4
その他（チラシ）：2	

■ ご意見・ご感想（19歳以下）

- 数ヶ月ぶりに来ましたが、面白かったです。

■ ご意見・ご感想（40代）

- フォトンカウンティング、珍しい、光に関する、奥深い内容、黒、X線、なかなか・・・と感じた。
- 実務に近い研究の話であり、興味深い内容でした。理論だけでなく、実用という視点が非常に面白かったです。

■ ご意見・ご感想（50代）

- 分かり易かったです。がんばって研究して下さい。
- 店長、前座の静大の花の話。良いです。続けて下さい。だんだん咲いてきた？工学系の講義は、モノが想像しやすくわかり易いので、今後のサイエンスカフェでも増やして下さい。宇宙モノも。
- 技術がいろいろな分野で高度化していて、人間は多くの方が寿命（私は120才と思っています）まで、より健康に生きられるようになるのではないかと思います。ただ、値段はどうなのかなと思いました。期待しています。別の話ですが、子どもの頃、池の近くにデイゴの木があって、よく学校の帰りなどに花の蜜を吸いました。そんなことを思い出しました。
- 講演前・講演内で地元静岡大学の様子がわかって、親しみのある講演となりました。

■ ご意見・ご感想（60代）

- 先端科学の話を知りやすく、説明していただき、大変興味深く受講できました。
- 低被爆のレントゲンやCTが早く実用化されることを期待しています。フォトンカウンティングという先端の研究があることを知り、勉強になりました。ありがとうございました。
- 実用化して人々の役に立ちそうな物がたくさんあることがわかりました。明るい未来を感じることができました。今後も発展していくことを願っています。
- 本日のお話は、理論を実用に見えるようにしていく過程というか、研究室が産業にむすびついているお話で、最新の技術進化におどろきです。内容は難しかったのですが、特に医学の関係で実用化が進んでいくことも期待してしまいます。

X線の新しい世界を知ることができました。ありがとうございました。

- 基本がわからなくて、「ふ〜ん、そうなのか」と図を見ていただけでしたが、学問の世界では、どんどん新しい世界が広がり、進歩している事に感心し、たのしく思いました。
- モノトーンのCT画像が、濃淡の次元からカラーになって物質のちがい等、情報が多くなって新しい技術の発展につながる。低エネルギーのX線で、被爆量が減ってくれば取り扱いの実用化の範囲が広がることがわかった。
- 難しいながらも、わかりやすい言葉で講義して下さり、有難うございました。私達の生活にも密着した研究が行われていることがわかりました。今後の研究に期待しています。

■ ご意見・ご感想（70代）

- 興味のあるテーマでした。材質の分析が更に高度化して進歩していけば、医学はもちろん未知の材料の研究等計り知れないプラスがあるのではないかと思います。このような研究が進められている事、すばらしい事だと思います。

■ ご意見・ご感想（年代不明）

- 〈この研究の先に何の光明がある〉という期待とか希望のようなものを、各セミナーの最後に加えていただけたら、研究発表がより実りあるものになるような気がします。